

いのちのリレー

いとよしゅうがっこう 一ねん

さいとう たくみ

1
 ぼくは、このなつやすみに、かぞくでがい
 すいよくにいきました。およいだり、もぐっ
 たり、かいがらをひろ、たり……。ひろくてお
 おきいうみは、とてもおもしろか。たです。
 でも、ビニールぶくろがあしにがらま、たと
 きは、たげがいがなきもちになりました。

2
 なうみのながをひとりではうけんするおはな
 しです。とちゅう、きけんなめにあ、たり、
 いきものたちがたべたりたべられたりするこ
 とをし、て、うみのながでいきることはい
 へんなことなんだとおもいました。

でも、いきものたちがたべたりたべられた
 りすることは、いのちをうばいあ、っているこ
 とではありません。それがいきていくことな
 んだとわかりました。そして、いのちにはお
 だけないんだとおもいました。ちいさいな

かかよき、とりやおおきなナがなたちがたづる。
たづられたいのちは、そのがらだのながでい
きて、いのちをつないでいるのです。そして、
おおきなさがなたちもいずればしんで、その
がらだはうみがめがプウブクトフたちのたづ
ものとなって、うみにかえっていくことをは
じめてしりました。

3

うみのかがは、たくさんいのちであふれ
ています。うみは、そのいのちをつなぐばし
よです。だがらこそ、きれいにしななければい

4

けないとおもいます。ビニールをクラゲとま
ちがえてたづたいきものが、しんでしまいうこ
ともあるそうです。キノはがえだはつちらも
どっていくけれど、ひとがだしたごみはうみ
のいのちのリレーをこわすだけです。そうし
ないためにも、ぼくは、ゴミはがならずもち
かえるようにします。そして、ぼくのいのち
をつなぎそだててくれるさかかがなむさい
を、のこさないようにたづたいとおもいます。
つないだいのちにかんしゃをしながら。